

# 第8 主な検挙事例

## 1 少年事件

### (1) 高校生ら4名による強盗傷害事件等

高校生ら4名は、民家に侵入し、帰宅した男性（当時64歳）の背後から口を押さえ、男性の背中や腰を複数回殴ったり蹴ったりする暴行を加えて、全治約3ヶ月の腰椎骨折を負わせ、アタッシュケースを盗んだとして、高校生（当時17歳・男）、有職少年（当時18歳・男）の2名を強盗傷害、高校生（当時19歳・男）、会社員（当時18歳・男）の2名を窃盗で逮捕しました。

（下妻署、捜査一課、捜査三課）

### (2) 有職少年2名による傷害・器物損害事件

路上において、数人でバイクを運転中に、トラック運転手（当時36歳・男）に走行を妨害されたことに立腹し、トラックの運転席やフロントガラスをヘルメットで叩いて破損させ、男性の顔面をヘルメットで殴るなどの暴行を加え、全治約6か月の加療を要する傷害を負わせたとして有職少年2名（当時18歳・男、当時17歳・男）を傷害、器物損壊で逮捕しました。

（結城署・少年課）

### (3) 無職少年による窃盗（部品ねらい）事件

民家駐車場において、乗用車から前後2枚のナンバープレートを盗んだとして、無職少年（当時19歳・男）を窃盗で逮捕しました。

（牛久署）

### (4) 有職少年らによる二セ電話詐欺事件

有職少年（当時18歳・男）は数人と共謀し、共犯者の成人男性が百貨店店員をかたり、無職女性（当時82歳）方に「あなたのキャッシュカードを使おうとした人がいる」などと電話をかけ、有職少年（当時18歳・男）が全国銀行協会の職員をかたって女性方を訪れ、キャッシュカード2枚をだまし取ったとして、無職男性（当時22歳・男）、有職少年（当時18歳・男）の2名を詐欺で逮捕しました。

（水戸署・二セ電話詐欺対策室）

## 2 福祉犯事件

### (1) コロナ検査を偽った準強制わいせつ、児童買春・児童ポルノ禁止法違反事件等

県内在住の15歳女性に、市役所職員を名乗って「新型コロナの検査をしましたか。今から検査します。」などとうそをいって女性宅に侵入し、わいせつな行為をしたほか、女性が18歳未満と知りながら、裸をスマートフォンで撮影したとして、無職男性(当時25歳・男)を準強制わいせつと住居侵入、児童買春・児童ポルノ禁止法違反(製造)で逮捕しました。

(日立署)

### (2) 有職少年被害にかかる風営法違反事件

有職少年(当時16歳・女)に客の接待をさせたとして、風俗店経営者(当時50歳・男)、飲食店手伝い(当時39歳・女)の2名を風営法違反(年少者使用)で逮捕しました。

(稲敷署・少年課)

## 3 SNSに起因する事件

### (1) 女子高校生被害にかかる児童買春・児童ポルノ禁止法違反事件等

SNSを通じて知り合った高校生(当時15歳・女)が18歳未満であることを知りながら、現金を渡して性行為をしたとして、団体職員(当時43歳・男)を児童買春・児童ポルノ禁止法違反事件(児童買春)で逮捕しました。

(つくば北署(現つくば署)・少年課)

### (2) 女子小学生被害にかかる児童買春・児童ポルノ禁止法違反事件

SNSを通じて知り合った小学生2名(当時10歳・女、当時9歳・女)が18歳未満であることを知りながら、SNSのテレビ電話で通話中、2人に裸を撮影させ、画面を録画したとして、アルバイト作業員(当時25歳・男)を児童買春・児童ポルノ禁止法違反(製造)で逮捕しました。

(水戸署)